

わたしたちにできること

市は令和3年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に認定されました。持続可能な(住み続けられる)まちづくりに向けた市の取り組みや私たちができる身近なことについて、不定期で紹介します。

問い合わせ先 SDGs推進室 ☎0968(41)4488

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGs未来都市 菊池市



SDGsの先へー。4つのキーワードで描く未来

2015年に世界中で採択されたSDGs。目標期限の2030年まで残り4年となった今、国の指針は、これまでの「17のゴールを知る・意識する」という

導入時期から、目標達成のさらに先を見据えた「実装」のフェーズへと移ってきています。「SDGsのその先の姿」を4つのキーワードでひもときます。

1 「数値目標」から「幸福度」(ウェルビーイング)の定着へ

これまでのSDGsは「経済成長」や「環境保護」といった数値目標が目立っていました。現在はその活動の結果として「住民一人一人が幸せを実感できているか」という幸福度(ウェルビーイング)が最優先されています。

幸福度という「共通の目標」を持つことで、行政だけでなく、市民や事業者の皆さんが立場を超えて協力し合い、同じ方向を向いてまちづくりを進めることが可能になります。

一人一人が幸せを実感し、「この地に生まれて、住んで良かった」と思える「癒しの里さくち」の実現を目指していきます。

2 自然を「守る」から「増やす」(ネイチャーポジティブ)へ

これまでの環境活動は「自然への負荷を減らすこと」が中心でした。今、国が掲げているのは、失われつつある自然を回復させ、より豊かにしていく「自然再興(ネイチャーポジティブ)」という新しい戦略です。

豊かな自然を維持することが、観光や農産物のブランド化や新しいビジネスを生み出す「持続可能なビジネスの機会」であるという捉え方です。

菊池の豊かな緑や清らかな水は、守るべき対象というだけではありません。これらを積極的に活用・再生することは、地域の価値を高め、次世代に富をもたらす続ける「かけがえのない資産」でもあるのです。



菊池渓谷

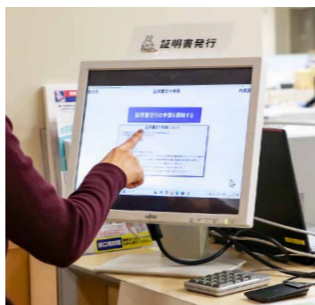


棚田(茂藤里)

3 デジタルで「持続可能」を当たり前

国が推進する「デジタル田園都市国家構想」は、デジタルの力を活用し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すものです。単なる効率化ではなく、新しいサービスを生み出し、地域の持続可能性を高め、何より私たち一人一人の幸せを形にすることを目的としています。

市では、行政手続きのオンライン化やデジタルの活用により、市民サービスの維持・向上に努めています。デジタルに不慣れな人も同様に、その恩恵を受けられるよう、サポート体制や誰でも使いやすい窓口サービスの充実にも取り組みます。



本庁舎や各支所で、コンビニと同じ画面を使って証明書を取得できます

4 パートナーシップで共に創る菊池の未来

現在、国は特定の地域にさまざまな人が多様に関わる「関係人口」の創出を重視しています。市に住んでいなくても、菊池の農産物を買っている人、イベントを手伝いに来る人、ふるさと納税で応援する人。こうした「菊池ファン」を増やすことは、これからの新しいまちづくりの形です。

パートナーシップを広げ、共に菊池の価値を高め、取り組みを進め、まちに活力を与えていきます。



基本的生活習慣の確立・健やかな体の育成のために

菊池っ子60運動

教育委員会では、幼保等小中連携協議会やPTA連絡協議会と協力して、昨年度から「菊池っ子60運動」に取り組んでいます。小中学校中心だった運動を、今年度は市民の皆さんにも知ってもらえるよう取り組んでいきます。

問い合わせ先 生涯学習課 ☎0968(25)7232



生活リズムの育成

運動習慣の育成

学習習慣の育成

菊池っ子60運動とは

令和6年度に市内の小学1年生～中学3年生を対象に実施した生活習慣調査の結果を踏まえ、「早寝早起き朝ごはん」を柱に、基本的生活習慣を見直し、子どもたちの学習意欲や体力・気力の向上を図りたいとの思いで始めました。「60」をキーワードに、6つの目標(下記詳細)を定め、リーフレットを作成し、園児や小中学生のいる家庭に配布しています。

詳細ホームページ→



昨年度の取り組みと今後の課題

本運動のチャレンジカードを小中学校で実施しました。「スマホやゲームは60分まで」「寝る60分前までにスマホを預ける」の項目ができていない人数が、学年が上がるにつれて多くなる傾向が見られました。

スマートフォンやゲームの長時間使用における影響を理解し、改善できる環境づくりをどのように進めていくかが今後の課題です。解決のためには、子どもたちだけでなく、家庭や地域の支えが必要と考えています。

菊池っ子60運動



60分間の運動

1日60分間の運動をしましょう。

- ▶ 体育の授業や部活動、クラブ活動
- ▶ 歌を歌う、楽器の練習 ▶ 外で遊ぶ
- ▶ 家の掃除 ▶ 散歩、ジョギング など



60分前起床

家を出る60分前に起きましょう。

- ▶ 洗顔、歯磨き ▶ 朝ごはんを食べる
- ▶ 排便する ▶ 忘れ物がないか確認する など



60分前にスマホを預ける

寝る前のスマートフォンやゲームなどは睡眠の妨げになります。

- ▶ 明日の準備をする ▶ 歯磨き ▶ 就寝の準備 など



スマホやゲームは60分まで

健康維持や精神の安定のために、長時間の使用はやめましょう。

- ▶ 自分で考えて時間を決める ▶ 決めた時間を家族に伝える など



60分間の会話

家族との会話を1日60分間はしましょう。

- ▶ 学校での出来事を話す ▶ 教科書の音読を聞いてもらう など



60分以上の家庭学習

学年(小学生)×10分+10分の時間は家庭学習をしましょう。

- ▶ 宿題、予習・復習 ▶ 自主学習・読書 ▶ 調べる、まとめる など

イラスト:てがきっず

今年度の主な取り組み

● 啓発動画の配信

本運動を多くの皆さんに知ってもらうため、吉本興業(株)の芸人とコラボしたCMや「菊池っ子60体操」の動画作成を進行中です。完成後はホームページで配信します。

情報発信の他、市民に楽しんでもらえるようなイベントの準備を進めています。

● 菊池っ子60運動フェスティバル

「菊池っ子60体操」を講師と一緒にやってみよう! スポーツ体験ブースでも体を動かして楽しめます。
とき 7月26日(日) 午前9時開会
ところ 総合体育館

● 菊池っ子60運動啓発講演会

睡眠や運動の大切さを学ぼう!
とき 10月4日(日) 午前10時30分開会
ところ 泗水ホール
講師 日本体育大学 野井真吾教授